

全身MRIがん検診

当院で「全身MRIがん検診」が行えます。

「全身のがん検査」の代表的な検査としてはPET-CTがあります。
しかし、このPET-CTは被ばくがあり、前処置（検査の準備）で2時間かかり、さらには高額ととも敷居の高い検査です。
そこで考案されたのが、MRIのディフュージョン撮影という特殊な撮影で行うDWIBS（ドゥイブス）法です。
DWIBS（ドゥイブス）法で行う「全身のがん検査」は、被ばくもなく前処置も簡易的です。
もちろん、MRIですので体内に金属があると検査ができないなどの制限はありますが、コストも抑え多くの皆さまにご利用していただける検査となっています。

※ 悪性腫瘍（がん）がエネルギー代謝（糖代謝）の高いことに着目し悪性腫瘍を検索するのに対し、DWIBSは悪性腫瘍が細胞密度の高い（細胞と細胞の間が狭い）ことに着目し細胞間の水の動きをもとに悪性腫瘍を検索します。

線虫検査で陽性の結果が出た方へ

線虫検査は、結果が陽性でも、どこにがんが疑われるのかはわかりません。
報告書には「医療機関を受診してください・検査してください」と書いてあってもどういう科を受けたら良いのか、どんな検査をしたら良いのかが書かれていません。病院や診療所を受診しても、線虫検査の結果だけで検査を行える医療機関はなかなかありません。
そこで当院では、線虫検査の二次検査として「MRI全身検診」をお勧めします。

当院の全身MRI検診では、全身MRI検査を考案された東海大学の高原医師（日本医学放射線学会 放射線科専門医）が立ち上げたドゥイブスサーチに読影（画像を診断する）を依頼しており、信頼性の高い読影報告書をお渡ししております。

線虫がん検査(リキッドバイオプシー)とは

嗅覚がすぐれた線虫が、がんの匂いに引き寄せられる性質を利用し、がんを検知することができるという新しい尿検査です。
線虫が反応するがんは胃・大腸・肺・乳・膵臓・肝臓・前立腺・子宮・食道・胆のう・胆管・腎・膀胱・卵巣・口腔咽頭と多くのがんがわかります。

全身MRIとPET-CTの比較

DWIBSとPET-CTは、どちらも一度に全身のがん検査が出来る手法です。

	DWIBS	PET-CT
注射	なし	検査薬を静脈注射
食事制限	なし	検査前絶食やインスリン制限
X線によるダメージ	なし	注射薬と放射線の2重被ばく
検査時間	約1時間	注射を含めて3時間
検査後処置	なし	注射薬の放射能が低下するまで待機
糖尿病患者	検査可	検査できない場合がある

※腹部臓器の検査精度を向上させるため食事制限をする場合があります。
どちらの手法もすべてのがんを発見できるわけではありません。DWIBSは、大腸がん、膵臓がん、肝臓がん、胆のうがん、乳がん、悪性リンパ腫などの診断に向いており、特に尿路系のがん（腎がん、尿管がん、膀胱がん、前立腺がん）の診断において力を発揮します。逆に肺がんや食道がんにはあまり向いているとは言えず、胃がんの診断には不向きです。

	肺	大腸	胃	膵臓	肝臓	胆のう 胆管	乳房	悪性 リンパ腫	前立腺	食道	膀胱	白血病
DWIBS	○	◎	△	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	○	×
PET-CT	◎	◎	△	◎	○	△	◎	◎	○	△	×	×

この検査で発見されたものはがんとは限らず、正常組織や炎症なども感知して検出されることがあります。そのため、他の検査結果と総合してがんか否かを判断することや、精密検査や経過観察が必要な場合もあります。

注意事項

MRI検査では電磁気を照射しますので、以下に該当する方は検査を受けることが出来ません。

- ・体内に金属製のプレートや心臓ペースメーカー、人工内耳などを装着している人
- ・刺青がある人

検査時間

約1時間程度となります。

費用

全身がん検査MRI ￥66,000

全身がん検査MRI + 胸部CT ￥77,000

全身がん検査MRI + 胸部CT + 頭部MRI (MRA含む) ￥99,000

※価格は税込みです。

ご予約受付・お問い合わせ

健診課にてご予約賜ります。

健診課予約専用電話：03-3902-2622

※午前は混雑するためお電話が繋がりにくくなっております。

お問い合わせは午後のお時間が比較的繋がりがやすいので、つながりにくい場合はお手数ですが、時間をおいてからご連絡下さい。



医療法人社団 景星会赤羽

赤羽東口病院

Akabane East Side Hospital